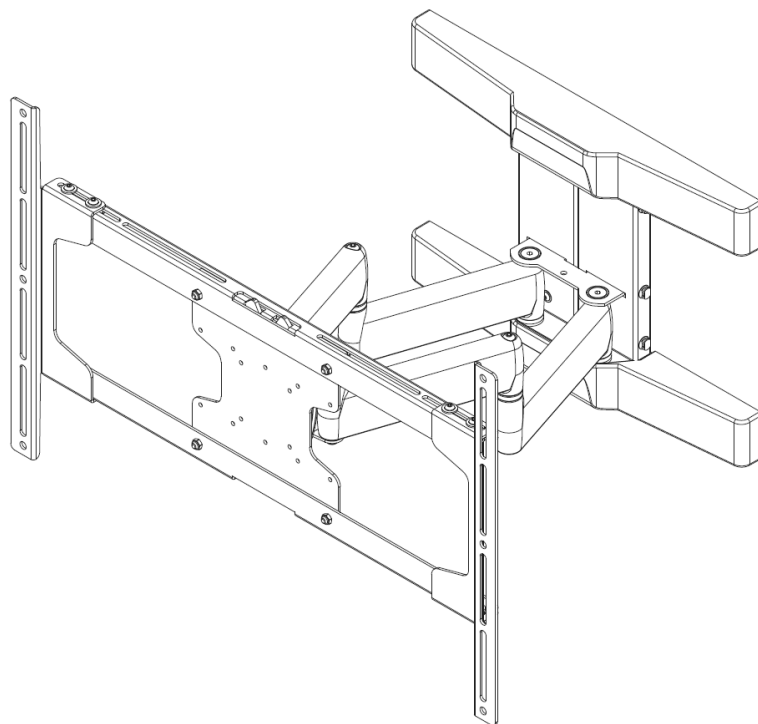


取扱説明書



壁掛けディスプレイマウント 型番：ODMLA25



ODMLA25

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

必ずお守りください。

設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

- お客様の安全のため、取付場所の強度には機器本体含むディスプレイおよび金具類の合計重量の少なくとも5倍に耐えるよう十分注意のうえ、設計施工を行ってください。
- 作業は必ず2名以上で行ってください。
- 取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を実際に取り付けてください。
- 壁面の構造や材質によっては補強さんや補強板をいれるなどして適切な施工方法を採用してください。

安全上のご注意

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重大な事故を負う可能性が想定される内容を示しています

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容あるいは物的損害の発生可能性がある内容を示しています

-  **警告**：部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。
-  **警告**：取り付けしているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やディスプレイの落下につながり、非常に危険です。
-  **警告**：作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください。指をはさまないようにご注意ください。
-  **警告**：ディスプレイの取付作業を行うとき以外、ロック機構で確実にディスプレイを固定しているようにご確認ください。
またケーブルの取付作業を行うときは、じゅうぶんにご注意ください。
-  **注意**：運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

設 置 の 前 に**■設置場所について**

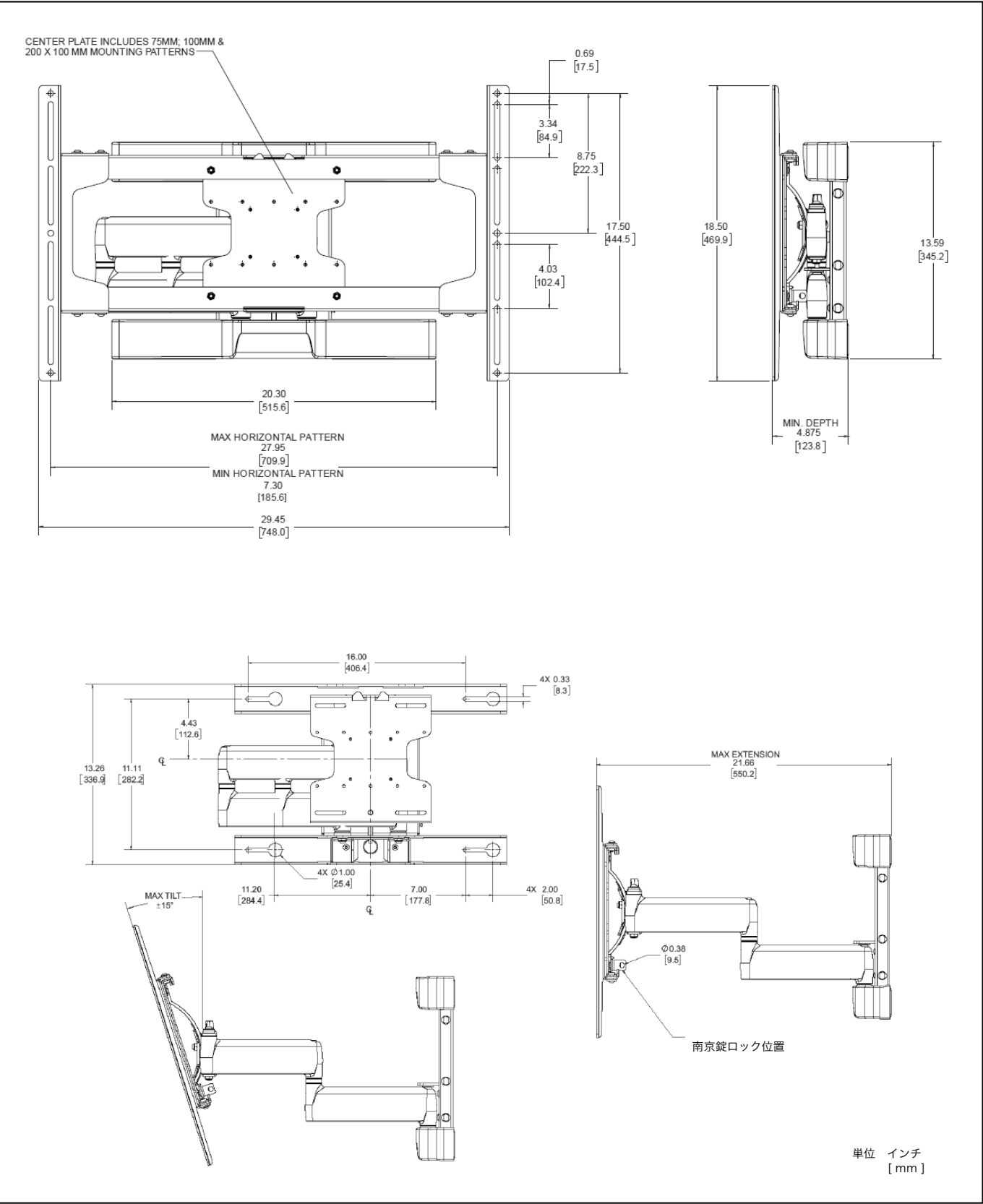
- 本製品とディスプレイを設置する構造物は、総合重量に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐えうる施工を行なってください。
- 設置の前に、ディスプレイと本製品を含めた取り付けユニットの総重量を確認のうえ、設置する壁面の強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行なってください。
- 荷重は必ず柱や梁などの堅牢な構造物で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な構造物への取付けは行なわないでください。
幅木や受け木に直接固定しないでください。
- 開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、ケガの原因となります。
- コンクリートの壁面に取り付ける場合は、総重量に十分耐えるコンクリートアンカー類を使用してください。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行なった場合、機器が落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

■設置方法

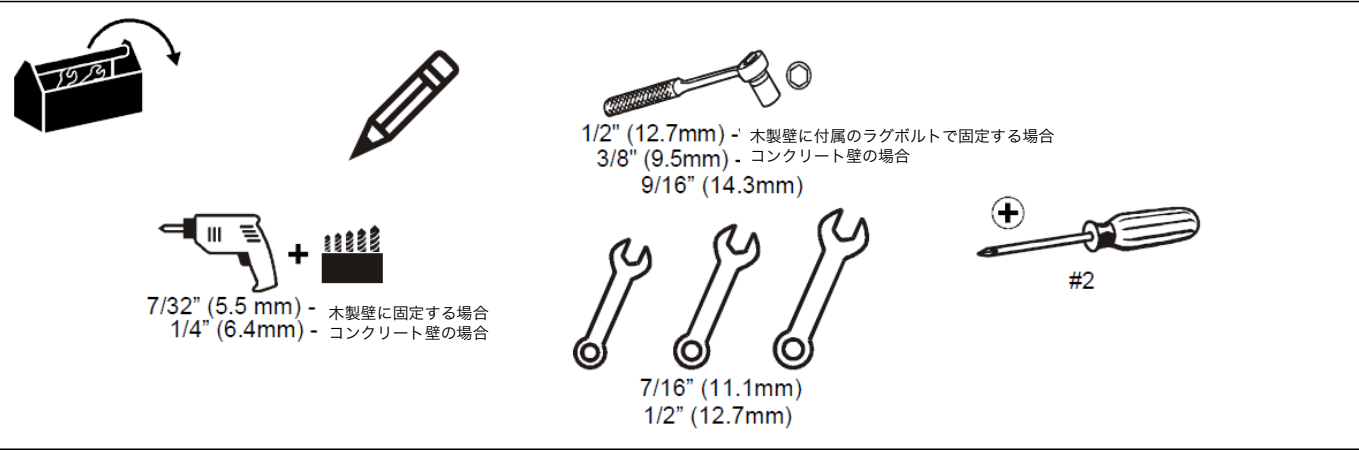
1. 各種の壁に対応したアンカー類やネジ等は、十分な強度を持ったものをご用意ください。
2. 本取扱説明書の安全上の注意の設置場所についてよくお読みのうえ、ディスプレイの壁面への適切な設置場所を決めてください。
3. 図に従って壁面への適切な下穴処理やアンカー固定を必要に応じて行なってください。
4. 壁面の強度やネジの保持強度が十分確保できるか確認してください。
5. 壁面マウントを壁面にしっかりと取付けてください。壁面マウントの取付穴上下各2ヶ所以上にバランスよく施工してください。

■各寸法図

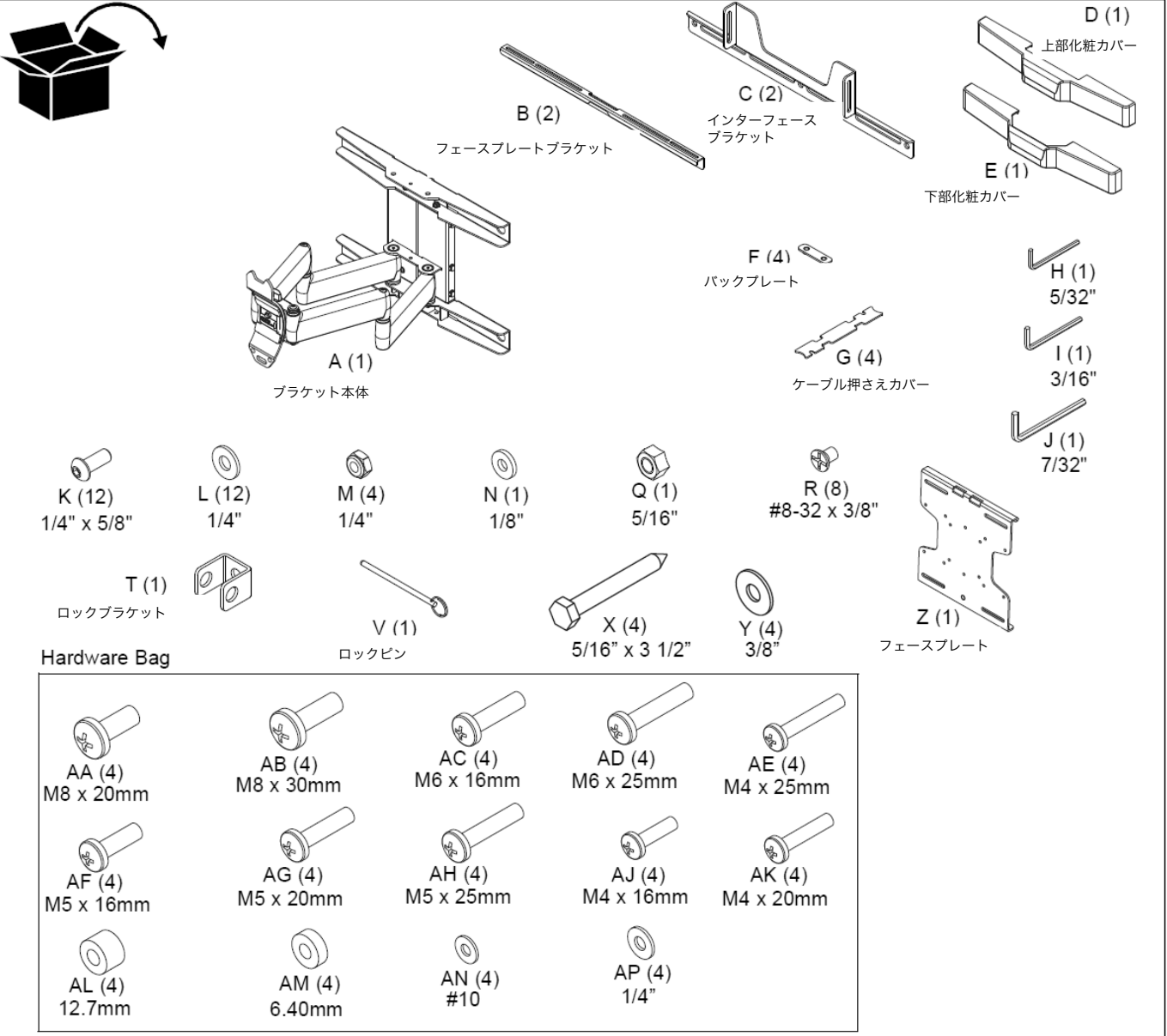


組立手順

■本体の組立に最低限準備いただく工具



■本製品の封入物



・下記の内容物が全て同梱封入されているか、ご確認ください。

■組み立て手順

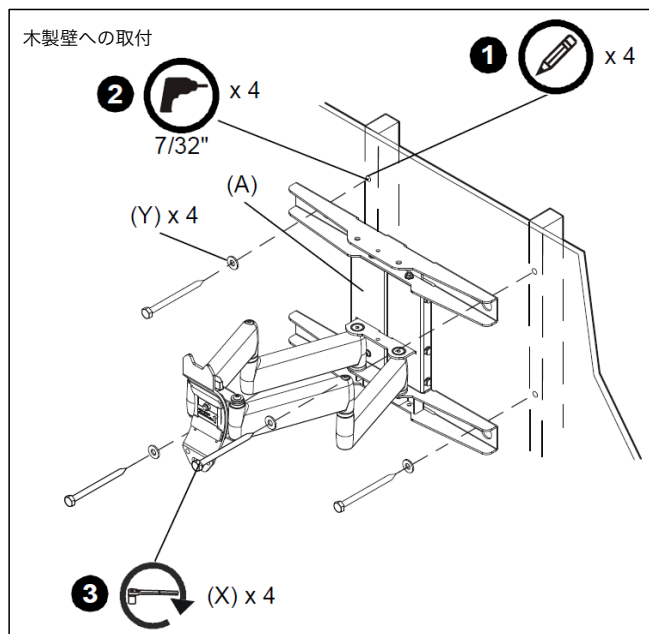
■壁面にマウントを取り付ける

- ⚠ 重要！**：組立て前に必ず寸法図を確認してください。
取付けるディスプレイのサイズにより取付部品
の場所などが変わる可能性があります。

メモ：施工業者の責任において、本製品と取り付ける
全ての製品の重量の5倍に耐えられるよう適切な工
法にて壁材の補強をしてください。
本製品の最大取付荷重は、68kg (150lbs)です。

木製壁への取り付け

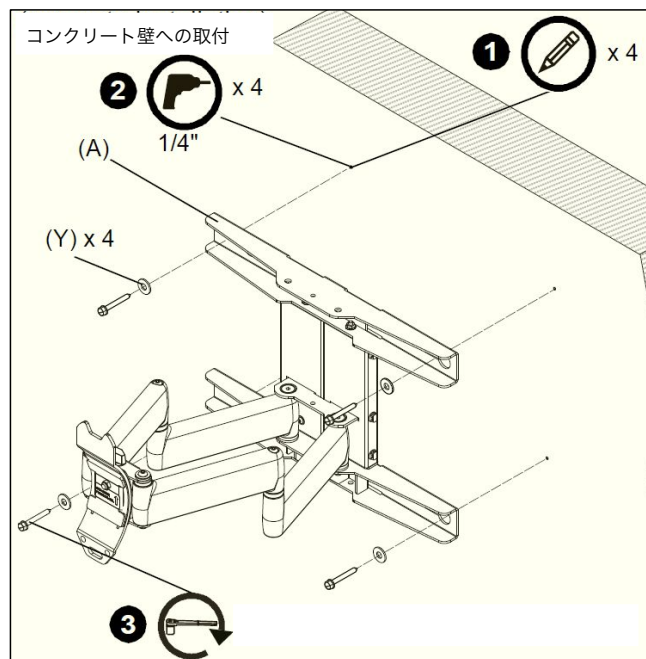
- 1.アームアセンブリ/ウォールプレート (A) を水平にし、
パイロット穴の位置に印を付けます。(図1を参照)
- 2.マークされた場所に4つの7/32"パイロット穴を開けま
す(図1を参照)。
3. 4つの5/16 x 3 1/2"ラグボルト (X) を4つの平ワッ
シャー (Y)、アームアセンブリ/ウォールプレ
ート (A) を通してドリル穴に取り付けてくだ
さい。(図1を参照)



【図-1】

■コンクリート壁への取り付け

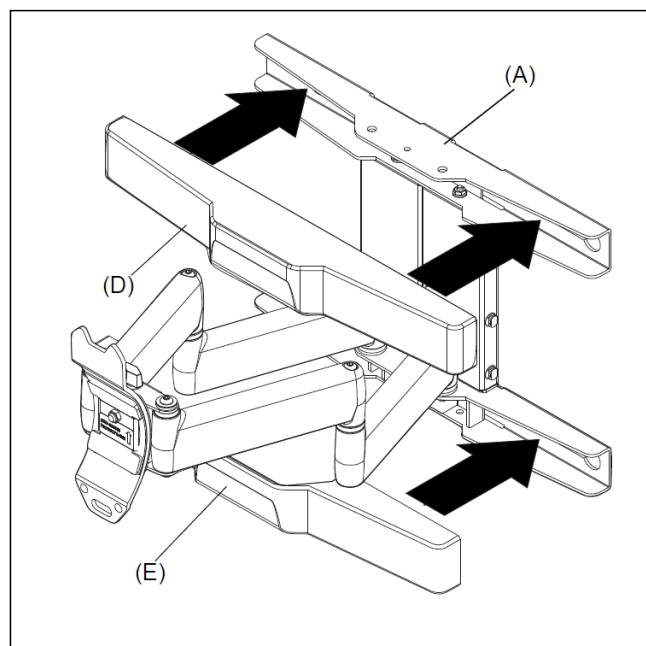
- 1.アームアセンブリ/ウォールプレート (A) を水平にし、
パイロット穴の位置に印を付けます。(図2を参照)
- 2.マークされた場所に4つの1/4"パイロット穴を開けま
す(図2を参照)。
3. 4箇所のアンカーを4個の平ワッシャー (Y)、アームア
センブリ/ウォールプレート (A) を通してドリル穴に取
り付けます。(図2を参照)



【図-2】

■化粧カバーの取り付け

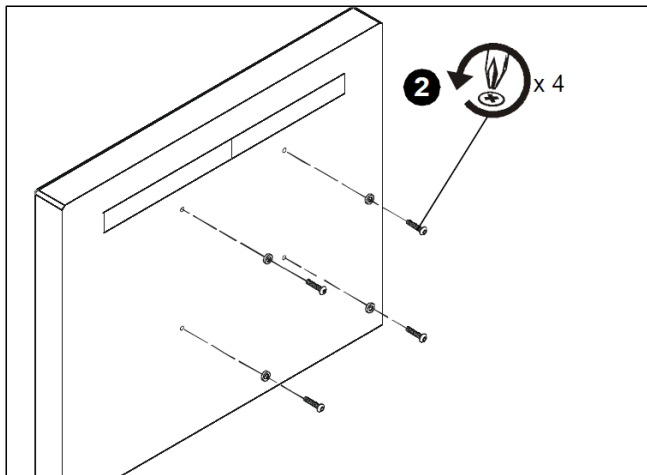
- 1.上部カバーと下部カバー (DおよびE) をメインアセンブ
リ (A) の取り付けレールに取り付けます。(図3を参
照)



【図-3】

■ディスプレイブラケットの組立て

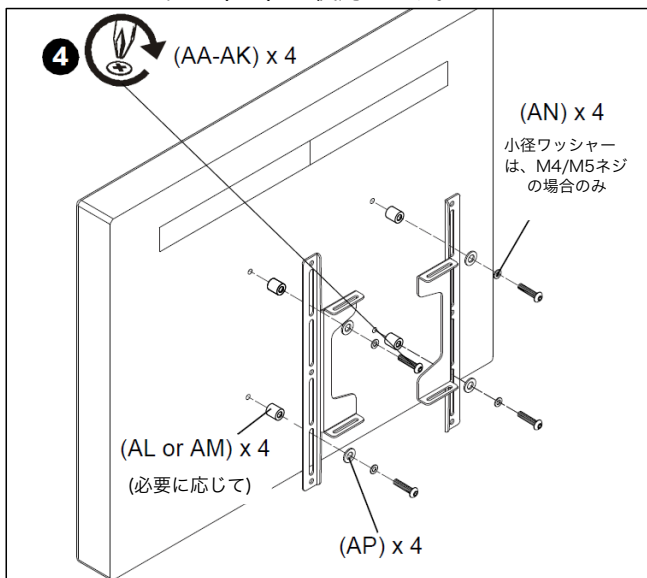
1. ディスプレイを下向きにして、画面にキズがつかないように保護した表面に置きます。
2. (該当する場合) ディスプレイの背面に取り付けられている、出荷時に組み込まれた4箇所のボルトとワッシャーを取り外します。(図4を参照)



【図-4】

3. ディスプレイの背面に2つのインターフェイスブラケット (C) を配置します。(図5を参照)
注：取り付け穴が凹んでいたり、突起がある場合には、スペーサー (ALおよびAM) を使用してブラケット位置を調整してください。
4. インターフェイスブラケット (C) をディスプレイに固定します。アプリケーションに適合するサイズの取り付けネジを選択してください。(図5を参照)

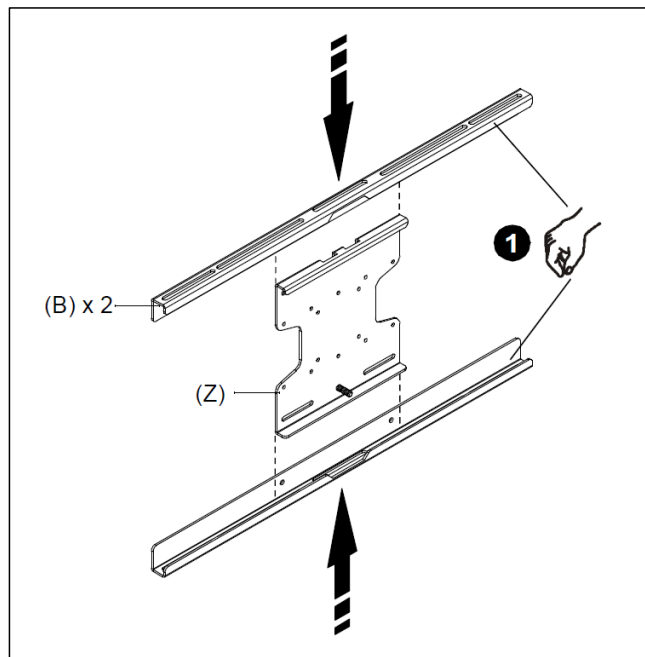
- ・必要に応じてスペーサー (AL、AM) を使用してください。
- ・M6ネジ (ACまたはAD) またはM8ネジ (AAまたはAB) と1/4"ワッシャー (AP) を使用します。
- ・M4ネジ (AE、AJまたはAK) またはM5ネジ (AF、AGまたはAH) の場合は、1/4"ワッシャー (AP) および#10ワッシャー (AN) を使用します。



【図-5】

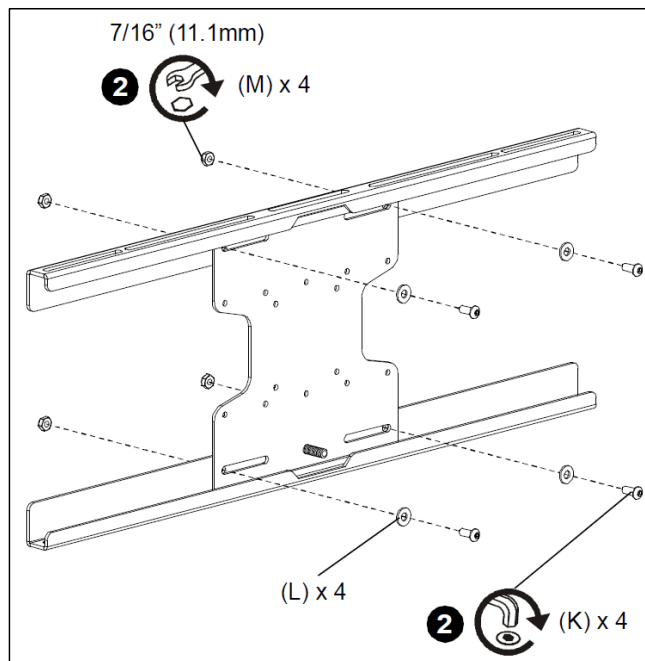
ブラケットをフェースプレートに取り付けてください

1. フェースプレートブラケット (B) をフェースプレート (Z) に合わせ、所定の位置にスライドさせます。(図6を参照)



【図-6】

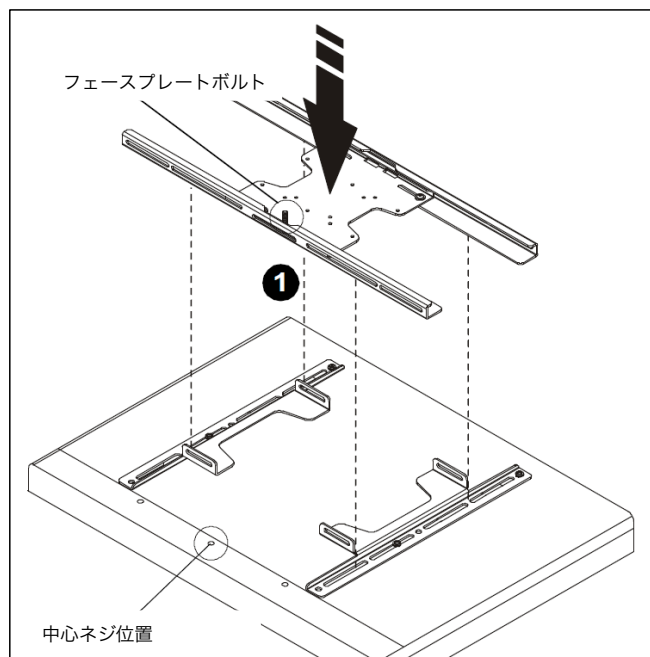
2. 5/32"六角レンチ (H) を使用して、4つの1/4 x 5/8" ボタンヘッドキャップネジ (K) を4つの1/4"ワッシャー (L)、フェースプレート (Z)、フェースプレートブラケット (B) に取り付けます。)、4つの1/4インチナット (M) に入れ、しっかりと締めてください。(図7を参照)



【図-7】

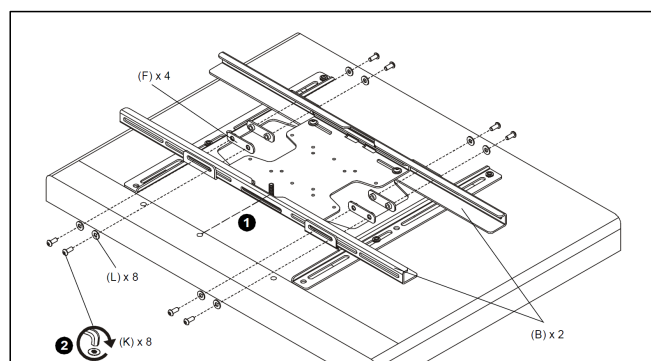
■ディスプレイにフェースプレートを取り付ける

1. フェースプレートブラケット (B) をインターフェイスブラケット (C) に合わせ、ディスプレイの中心をフェースプレートボルトに合わせます。(図8を参照) および (図9を参照)



【図-8】

2. 5/32 "六角レンチ (H) を使用して、8つの1/4 x 5/8" ネジ (K) を8つの1/4 "ワッシャー (L) とフェースプレートブラケット (B) を通して4つのバックアッププレート (F) に取り付け、しっかりと固定してください (図9を参照)

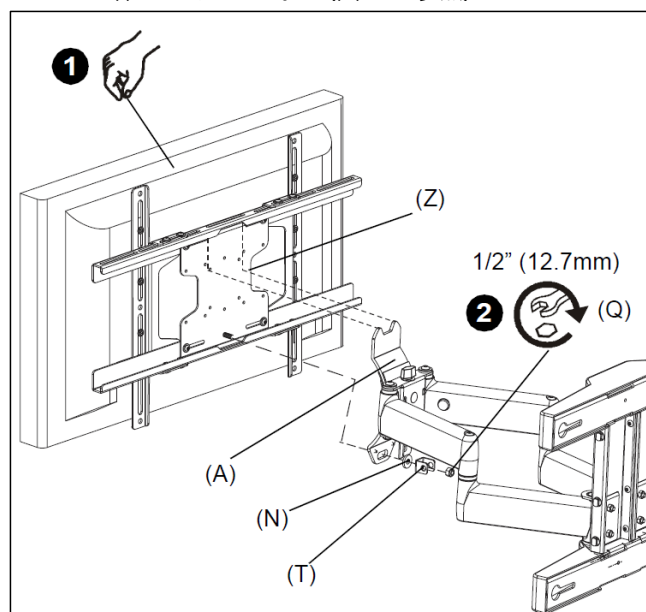


【図-9】

■ディスプレイの取り付け方法

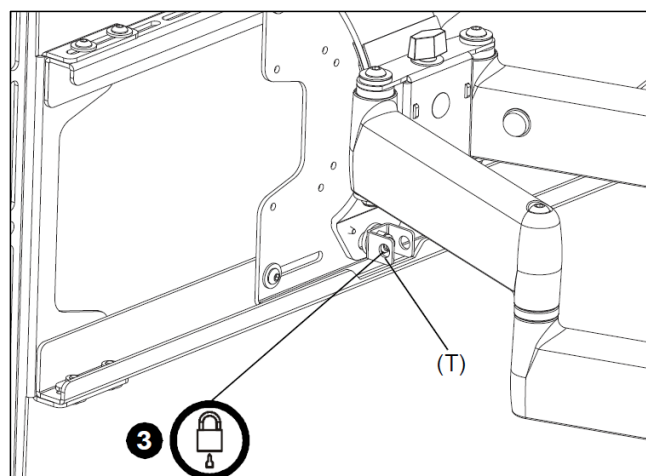
- ⚠ 警告：不適切な据付けは、不慮の落下を引き起こす場合があります。
- ⚠ 警告：設置者の責任において 本製品およびディスプレイを含むすべての取付機器の合計重量が68 kg (150ポンド) を超えないようにしてください。

1. フェースプレート (Z) の上部のスロットを、アームアセンブリ (A) の上部のタブに合わせます。ディスプレイを所定の位置に下げ、フェースプレート (Z) のネジ付きスタッドをアームアセンブリ (A) のスロットに回転させます。(図10を参照)
2. スパース (N)、ロックブラケット (T)、およびナット (Q) をネジ付きスタッドに取り付けます。しっかりと締めてください。(図10を参照)



【図-10】

3. (オプション) ロックブラケット (T) を介して南京錠を取り付けます。(図11を参照)
注：南京錠のシャックル径は8mm以下のものをご用意ください。

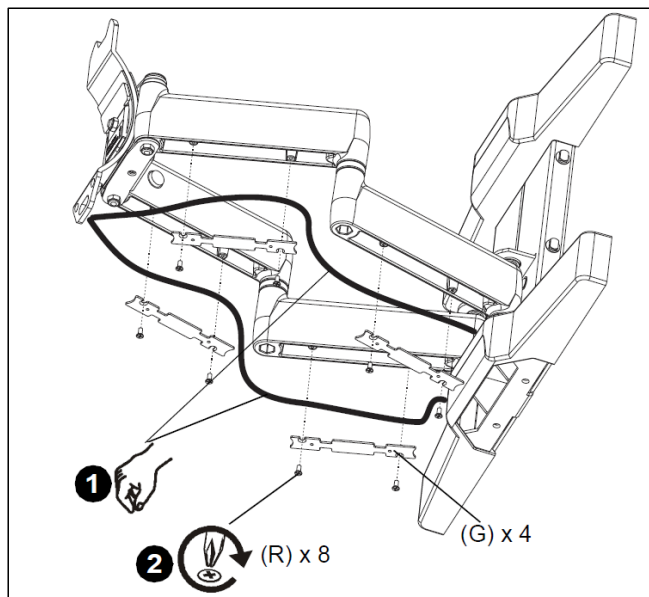


【図-11】

■ケーブルマネジメント

▲ 注：アームの可動域に十分なケーブルのたるみが確保でき、カバー（G）またはネジ（R）の取り付けによってケーブルが挟まれないようにしてください。

- 1.マウントアームの下部にある空洞にケーブルを慎重に挿入します。（図12を参照）
- 2.各カバー（G）を2本のネジ（R）で取り付けてください。（図12を参照）

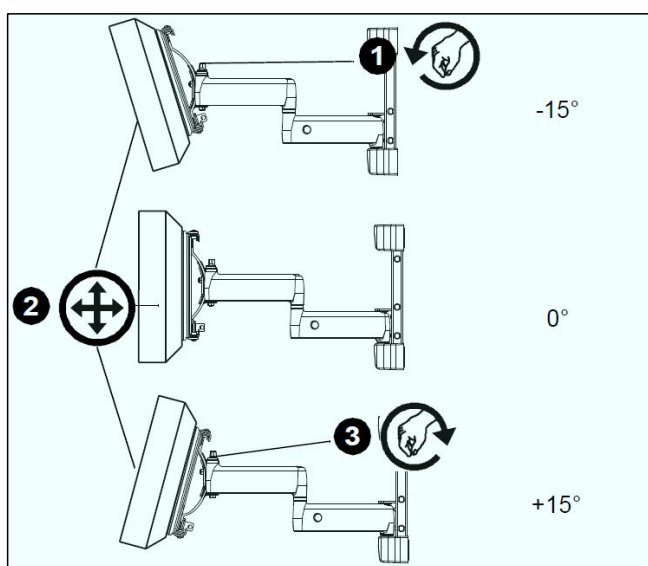


【図-12】

■画面位置調整

ピッチ

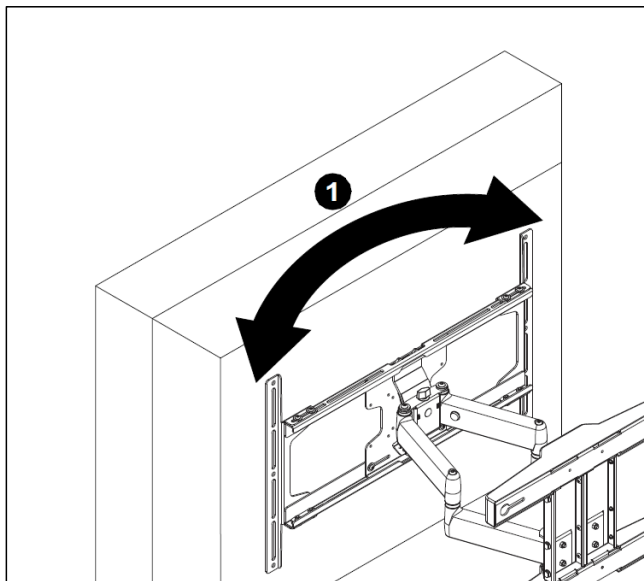
- 1.ピッチ調整ノブを緩めます。（図13を参照）
- 2.ディスプレイを希望の角度（-15°から+15°）に傾けます。（図13を参照）
- 3.ピッチ調整ノブを締めます。（図13を参照）



【図-13】

■ロール調整

- 1.ロール角度はいずれの方向にも2.5°ずつ調整できます。（図14を参照）

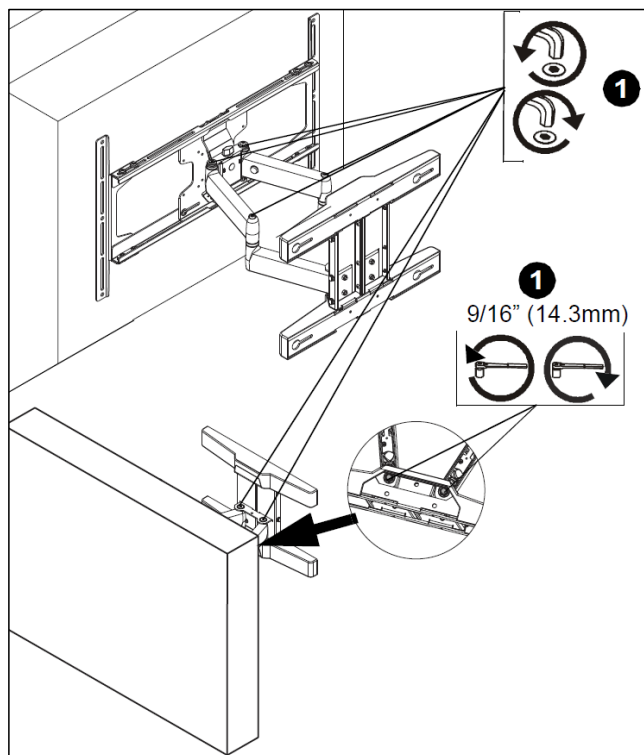


【図-14】

■アームの展開と操作感の調整

▲ 警告：調整ネジを過度に緩めたり締めたりすると、重大な人身傷害や機器の損傷につながる可能性があります。

- 1.六角レンチ（I、J）を使用して、図の箇所の調整ネジを緩めたり締めたりして、ご希望の操作感になるように調整してください。（図15を参照）

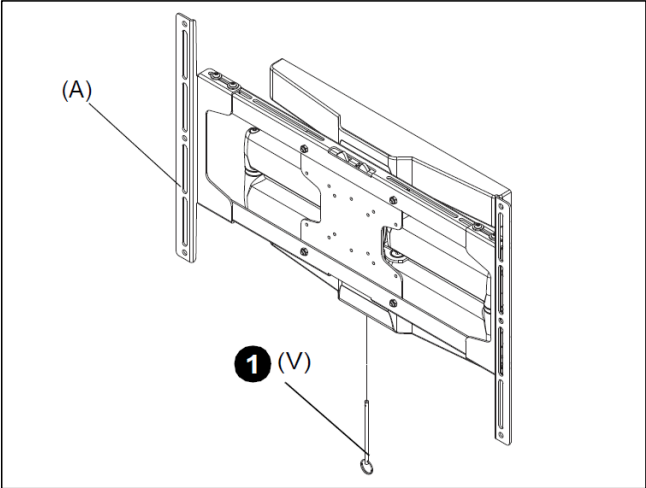


【図-15】

■アームを格納した位置で固定する

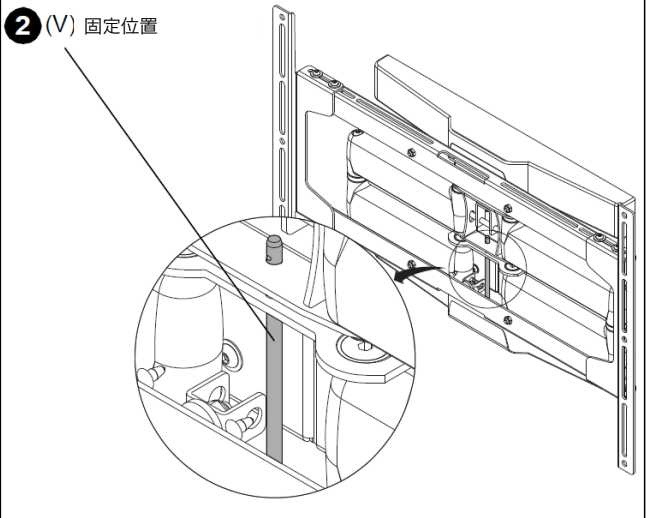
本製品は、ロックピン (V) を使用してアームを格納した位置にロックできます。

- 1.ロックピン (V) を、メインアセンブリ (A) の下部ブラケットを通して、フェースプレートの後ろのブラケットの穴に挿入します。(図16を参照) および (図17を参照)



【図-16】

説明のため、フェースプレートは省略しています



【図-17】

memo

– <http://www.avc.co.jp/>



■ システム販売事業部

＜首都圏＞ 〒135-0063 東京都江東区有明3-7-18 有明セントラルタワー 8階
＜関西＞ 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-18-25

TEL. 03-3527-8660 FAX. 03-3527-8666
TEL. 06-6836-7827 FAX. 06-6310-6144